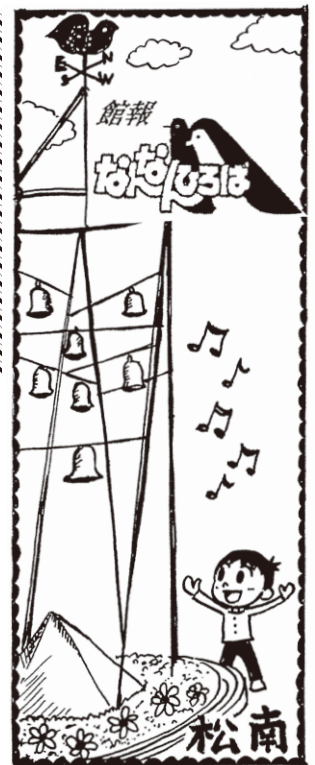




すべての人が吞まれたコロナ禍。松南地区の様子や住民の思いの一端を、報告します。

◎笑顔を励みに
(福祉ひろば 井口 純子)

コロナウイルスの流行で、ひろばから笑い声が消えて静かになりました。「ずっと一人で家にいると元気がなくなる」「誰とも会えず話もできず寂しい」との声を聞きました。そこで推進協議会会長と相談し、南部公園などでウォー

キスなどで感染する直接感染と咳、くしゃみを手で押さへ、その手で触れたドアノブ、手すり、つり革等にウイルスが付きます。それに触れ、その手で口や鼻に触れると、粘膜から感染する間接感染があります。この場合、互いに両手を広げてもぶつからない距離は2メートル、これが社会的距離です。

これからの地域の声を聞きながら、皆さんの笑顔に会えるように、頑張ります。



◀青空体操

◎私が見た子ども達の様子

新型コロナウイルスの感染防止対策を、子ども達は健気に受け入れ生活しています。

周囲の小中学生は、休校、分散登校から、ようやく一斉登校になりました。先日、下校する小学生の団に会いましたが、全員がマスク顔。聞けば、体育と給食以外は終日着用とか。新一年生は、マスクを外した友達や先生がわかるかしらと心配になります。ニュートンはペスト流行時の自粛生活中、万有引力の法則を発見したそうです。制約の多いコロナ禍の下での異常な生活ですが、今の体験が、将来「有意義だった」と言える時が、きっと来ることを信じていたいと思います。

(石川 博子)

◎飛沫感染

感染者が、咳、くしゃみをしたときに、病原体が含まれた飛沫を吸い込んで感染します。飛沫の飛び散る範囲は、1〜2メートルで、2メートル以上飛ぶことはありません。これが社会的距離です。

社会的距離を保って、感染症を予防しましょう。

(塩原 保彦)



リモートワーク



オンライン授業



一人ひとり、手・聴診器を消毒



フードコートディスタンス



大型店レジ風景



ガンバル飲食店

久保田芳和さんに聞く 松本交通安全協会 南松本支部長を退任し……

Q 松南地区は、大きく様変わりしたのでしょね。

A 昭和40年に宮田に越して来ました。宮田製作所の社宅跡地で、競輪場跡地（現開明小学校）が目の前でした。懇意にしていたいた滝沢祐一連合町会長さんが、「ここは松本の副都心になる」と熱心に語っていました。住宅地が急激に増え、小学校・理美容学校・教育センターも出来ました。でもこの地区が大き

Q 地域役職を歴任されていますね。

A 組長で宮田中公民館建設に努めたのが、始まりです。保育園の運営委員をした縁で、小学校PTA役員を6年、会長にも就任しました。ちょうど開校10周年でした。

交通安全協会（安協）の役員になったのが昭和53年、以降、町会長もしました。地域の役が切れたことは、なかったですね。

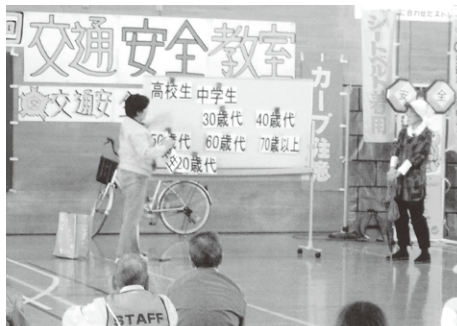
Q 安協の役員を30年余り務めておられますが、その辺の事情はどうでしたか。

A 安協には長野県自動車協会（昭和23年発足）という前身がありました。車を持つ個人や企業が、車両会員を募って活動していました。そのころからの長い付き合いです。

安協になり、副支部長を経て平成8年から24年間、支部長を務めてきました。後進の適任者はいましたが、病気や家庭事情などの悪化が相次ぎ、辛い思い出もあります。後任選びのタイミングは、難しいですね。

Q 安協活動で最近思うことは？

A 「交通安全、私から」というキャンペーンがありますが、5分の余裕をもてば自転車事故は減りますし、チャイルドシート着用は習慣づけられればできる事です。子どもさんは、きつと見ています。安全はルールを守ることに尽きます。また、無呼吸症候群も心



各種イベントを企画



松本警察署表彰

Q 本堂にご苦勞様でした。退任して思うことを聞かせて下さい。

A 安協をはじめ地域の役職をずっと担ってきまして、「前向きに取り組めば、自分を生かす体験になる」と心してきました。地域活動とはそういうものと思います。解放感があります。でも家の前で、子ども達の見守りはずっと続けます。6年生から卒業時にお礼の手紙とジャムをいただいたのは、何よりの宝物でした。

松南地区の安全安心は、「私から！」

高宮交番所長 北林 慎吾

県内のケガのある交通事故（人身事故）の約1/6が松本署管内で発生し、うち13%が高宮交番管内で発生しています。

代表的な事故の特徴として、
一 車同士の追突事故
二 交差点右左折時の事故
三 自転車による事故
が挙げられます。

県内では「交通安全『私から！』」運動を推進中です。また、特殊詐欺被害防止の緊急対策も推進中です。皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

	人身事故 (件)	死者 (人)	傷者 (人)	物件事故 (件)
長野県	5,928	62	7,184	53,220
松本署	998	3	1,176	7,681
高宮交番 管内	134	0	155	900

人身事故統計 (平成31年4月～令和2年3月)

コラム松南

● コロナ コロナ コロナ

ヨーロッパより屈強な若者が一人、東南アジアの小さな島を訪問し、友好的な島民に大歓迎され住み続けた。時を経て、ヨーロッパの流行り病は爆発的に蔓延し、一年で島民は死に絶えた。医師も健康体には流行り病は無縁と思っていた。滅亡の話は、ヨーロッパで「健康でも無意識に伝染させる」と認識を変えた。「腸チフスのメアリー」といわれた女性は、「無症候性キャリア」として50名近くに伝染させた。◇1月、中国武漢で発生したコロナは、現在1200万人超えの感染者を見、グローバルという「高速増殖網」に乗り、増え続けている。特に途上国の赤信号は、日毎に大きい。◇非常時の今、私権を制限しなければ、公共の利益が損なわれることを痛感する。マスクは、利己を越え感染させない防具と前向きに捉えたい。コロナを防ぎ経済を活性化させる方策を各国は懸命に探し求めている。もう少しの辛抱と思う。安心安全なワクチンと治療薬の完成が早まるんことを願う。（田中 紀彦）